

算数オンライン塾 1月30日の問題 解説

(1)

同じ分母の分数が分母の数だけあります。分母が4の分数は4個あります。

したがって、分母が9までは $(1+9) \times 9 \div 2 = 45$ 個あります。 $\frac{3}{10}$ は分母が10の分数の2番目になるので、47番目。

(答え) 47番目

(2) 分子はすべて奇数なので、分母は偶数にならないと和が19になりません。

分子が1のとき分母は18、分子が3のとき分母は16、分子が5のときは分母が14、分子が7のときは12、分子が9のときは分母が10ですが、分子が11のときは分母が8となります。分母が8のときの分数は8個あるので、分子が最大になるのは $\frac{15}{8}$ したがって $\frac{11}{8}$ はあります。次に $\frac{13}{5}$ はないので、答えは6個

(答え) 6個

(3) 分母が25の分数は25個あるので、 $(1+25) \times 25 \div 2 = 325$ 個

したがって325番目の分子は $1 + 2 \times (25 - 1) = 49$

なので、49、47、45、43、41となるから、321番目の数は $\frac{41}{25}$

(答え) $\frac{41}{25}$